

✽ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✽

— 子どもの読書活動を推進しましょう —

□ 平成27年度の「福岡市小学生読書リーダー養成講座」が行われました！

今回で5回目となる「福岡市小学生読書リーダー養成講座」が、去る6月20日（土）と27日（土）の両日、福岡市総合図書館三階の第一会議室で行われました。

今年度から学校図書館支援センターが本格稼働したことにもない、同支援センターが養成講座を行いました。同講座は昨年も受講希望者が多かったことから、できるだけ多くの児童が参加できるように日程や内容等について再検討がなされ、受講日数が二日間から一日のみに変更となり、同じ内容で二回開催されることになりました。これにより、受講者数の枠が150人から200人に広げられました。（各日100名）さらに、受講後、実際に読書リーダーとして活躍してもらうことを考慮し、対象学年を学校で図書委員を務める5・6年生とされました。この結果、昨年度にも増して申込み者数も増加しました。

当日の欠席者を除く二日間の参加者の合計は、5年生109名、6年生86名の計195名でした。さらに、受講の申し込みがあった学校の数も、去年の35校から51校に増えました。

両日とも参加した受講生の児童たちは、全員意欲満々で、会場は開会前から真剣な雰囲気になっていました。司会者による開会のオリエンテーションに続き、総合図書館の久池井良人館長（二回目の講座の時は、池田一司学校指導部長）から受講生を励ます開会のあいさつがあった後、さっそく最初の講座、「読書リーダーとは」の講義が、学校指導課の平川洋一主任指導主事から行われました。効果的にインタビューを行い、受講者の意欲を高めながら、講座1のめあてである、「読書リーダーの役割を知ろう！」について、具体的にお話しされました。



（左：6月20日：久池井総合図書館館長
右：6月27日：池田学校指導部長による
開会の挨拶）



（平川主任指導主事による「講座1」の様子）

読書リーダーに期待される役割として平川主任指導主事から次の3点が伝えられました。

- ・本のすばらしさを伝える，広げる
- ・本好きを増やす
- ・本のことで困っている人を助ける

終始和やかな雰囲気の中で講座は進められ，講座の最後を平川主任指導主事は次のように締めくくられました。

「皆さん自身が読書の素晴らしさを実感することはもちろん，その素晴らしさを友達につたえ，読書好きな人をどんどん増やしてください。」



(講座1「読書リーダーとは」のひとつま)

続いての講座は「本の探し方」について，福岡市総合図書館の読書相談員 重村さやかさんから講義がありました。(重村さんは，この「子どもと本の日」通信の「図書館員の秘密の本棚」の記事を書いていたという方です。)

「図書館の本の並び方を学ぼう」ということをめあてに，図書館の本はどのように分類されているのか，日本十進分類法や，本の背ラベルの意味，書架に収めてある本の並び方などについて学びました。受講生たちは，みんな熱心にレジュメにメモを記入していました。



(講座2「本の探し方」のひとつま)

午前中は以上の二講座で終了し，午後は講座3「絵本のよみきかせ」と講座4「POPを作ろう!」が行われました。受講生たちは二つのグループに分かれて，前半・後半で二つの講座を受けました。

講座3「絵本の読み聞かせ」では，福岡市総合図書館の読書相談員，松瀬民恵さんが実際に受講生に読み聞かせを実演しながら，読み聞かせを行うにあたっての要点を4つのポイントとして説明されました。その4つのポイントとは，

- 1 読み聞かせに合った本を選ぶ
- 2 読む練習をする
- 3 本はしっかりと持ち，絵が隠れないようにめくる
- 4 はっきりとした声で，心をこめて読む

この4点です。

さらに，それぞれのポイントについて，どのように注意すればよいのか，具体的に説明がありました。



（松瀬読書相談員による読み聞かせの講座）



（読み聞かせの実習にチャレンジ！）

続いて、受講生たちは6つの班に分かれ、各班ごとに読み聞かせの実習に入りました。主催者があらかじめ用意した絵本から各自一冊を選択し、読みの練習を行った後、一人ずつ実際に絵本を持って、読み聞かせにチャレンジしました。中には短い練習時間とは思えないほど、上手にできた受講生もいて、周囲から大きな拍手を受けていました。

講座4「POPを作ろう！」では、講座2に続き、総合図書館の重村読書相談員が講師を務められました。

実際のPOPをスクリーンに映しながら、POPの役割ととは何か、POPに必要なことは何か、どんなPOPが良いのか、POPを上手に作るためのコツについて、説明がありました。

ちなみに、説明のあった「POPを上手に作るための4つのコツ」とは、次のとおりです。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 色は5色まで（多く使いすぎない） | 2 漢字は大きく、ひらがなは小さく書く |
| 3 文字はつめて書くときれいに見える | 4 まっすぐ書くには線を引いてから書く |



（重村読書相談員によるPOP作りの演習）



（一心不乱にPOP作りに集中）

説明の後、POP作りの実習に入りました。受講生たちは家から持ってきた愛読書についてのPOP作成を行いました。さまざまな色のマーカーを用いたり、色紙を切って貼るなど、各自工夫をこらしながら、楽しそうにPOP作りに取り組んでいました。

四つの講座の終了後、「福岡市小学生読書リーダー養成講座」の修了式が行われました。



(久池井総合図書館館長からの認定証授与)

修了式では、福岡市総合図書館の久池井館長（27日は河川管理部長）から、受講生の代表者に読書リーダーの認定証が渡されました。

この後、係員から全員に認定証と読書リーダーのバッジが渡されました。

読書リーダーに認定された子どもたちが、二日間の講座の成果を活かすのはこれからです。参加をいただいたそれぞれの学校の先生方には、読書リーダーの子どもたちが活躍できる場を設定していただいたり、活動への助言や後押し等を、どうぞよろしくお願いします。

最後になりましたが、今回の講座の実施にあたり、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。また、当日、見学にお越しいただいた保護者、司書教諭、学校司書の皆様に、心からお礼を申し上げます。

主催者より



(河川総合図書館管理部長の修了式の挨拶)

♪ 子どもたちの受講後の声を集めました！

- ・わかりやすく、ためになった。このことを活かして図書委員としてがんばりたい。
- ・本の探し方などで迷っていたけど、この講座を受けてわかるようになりました。
- ・読み聞かせは初体験だったので、とても楽しかったです。
- ・読み聞かせの時の本の見せ方がよくわかりました。
- ・小さい子に読み聞かせをしてあげたいと思いました。
- ・読み聞かせをする時やPOPを作ったり、習ったことが活かそう。
- ・来年は図書委員になってPOPを書きたい。
- ・POPを書いていたら、おすすめしたい本がもっとおすすめしたくなった。
- ・本の背に貼ってあるシールに意味がよくわからなかったけど、今日その意味を教えてもらって納得できました。
- ・日本十進分類法の勉強がおもしろかった。これから本を探すときに役立ちそう。
- ・図書館で困っている友達を見つけたら、助けてあげたいと思った。
- ・本が好きな人を増やしていきたい。



□ 行ってみましょう！「福岡市中学校生徒図書委員交流会」

読書リーダー養成講座は、早い時期に読書活動に親しませることをねらって、小学生を対象としています。中学校では発達段階を踏まえ、図書委員会活動等での生徒の自主的な活動の促進を通して、学校全体の読書活動を活性化させることができるのではないのでしょうか。中学校図書館教育研究会が主催する標記の交流会は、生徒の図書委員としての自覚を高め、各学校での読書活動の促進に大きく寄与しています。同研究会はたくさんの中学校からの参加を期待しています。交流会の日程等は下記のとおりです。当日は学校の先生方はもちろん、学校司書や生徒の皆さんたちも一緒に連れだって、会場に足を運ばれてはいかがでしょうか。

- | | |
|-----------|---|
| * 期 日： | 平成27年8月27日（木） 13時00分（開場）～16時30分 |
| * 場 所： | あいれふホール（福岡市中央区舞鶴2-5-1：あいれふ10F）
（注）例年と会場が変更になっています！ |
| * 問い合わせ先： | 福岡市立長丘中学校 教諭 椎原一美 TEL：561-7866 |

□ 福岡アジア美術館・福岡市総合図書館のお知らせ

* 福岡アジア美術館：

「おいでよ！絵本ミュージアム2015」

＜期間：2015年7月24日（金）～8月20日（木）＞

標記のイベントも今回で9回目になります。今年は「つながる・ひろがる」をメインテーマに、また「絵本でめぐる1年」をサブテーマとして、絵本約1000冊と原画が展示されます。さらに、毎日ワークショップなどのイベントも開催されます。

詳細は下記のホームページでご確認ください。

<http://www.kodomo-abc.org/ehonmuseum2015/>



* 福岡市総合図書館：

「夏休み図書館の達人講座～図書館員が教える調べ方のコツ～」

○期日：2015年8月5日（水）・8月7日（金）のいずれか1日

○時間：午前10時30分から12時まで

○対象：小学校4・5・6年生 ○人数：各日 先着30名

○会場：福岡市総合図書館 こども図書館内 おはなしの家

（申込み方法）

参加申込書を福岡市総合図書館のホームページからダウンロードしてください。

締め切りは 7月24日（金）（必着）です。

* 福岡市総合図書館のホームページ：<http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>

□ 図書館歳時記

8・9月の文学関係の記念日等
です。特集コーナーの参考にどうぞ！

✿ 記念日関係

♪ 8月19日：俳句の日

平成4年、俳人で正岡子規の研究家でもある坪内稔典（京都教育大学名誉教授）さんらが、夏休み中の子どもたちに俳句への興味をもってもらおうと、語呂合わせからこの日を俳句の日とすることを提唱しました。日本記念日協会公認の記念日とされています。

♪ 9月8日：国際識字デー

1965年のこの日に開催されたテヘラン会議において、当時のイラン国王からだされた、各国の軍事費1日分を識字教育に搬出するという提案が、その年のユネスコ総会で採択され、「国際識字デー」として制定されたものです。識字デーの意義について、こどもたちに考えさせてみてはいかがでしょうか。



✿ 9月に関係する文学者・詩人・俳人たち

♪ 8・9月生まれ的主要な文学関係者

8月 1日 室生犀星（1889）	9月 6日 星 新一（1926）
8月 23日 三好達治（1900）	9月 11日 オー・ヘンリー（1862）
8月 24日 若山牧水（1885）	9月 15日 アガサ・クリスティー（1890）
8月 27日 宮澤賢治（1896）	9月 17日 正岡子規（1867）

♪ 8・9月に亡くなった主要な文学関係者

8月 22日 島崎藤村（1943）	9月 20日 ヤーコブ・グリム（1863） （グリム兄弟の兄）
9月 17日 若山牧水（1928）	
9月 19日 正岡子規（1902）	9月 21日 宮澤賢治（1933）

□ 図書館員のひみつの本棚 <111>

福岡市総合図書館の重村さやかさんから、今月もすてきな本を紹介していただきました。暑いこの季節に正にぴったりの本です。（夏休みの自由研究のヒントにもなるかも？）

*今回はあえて二冊紹介されています。その理由は添付ファイルでご確認を！

○『こおり』たくさんのふしぎ傑作集

（前野紀一／文 斉藤俊行／絵 福音館書店 2008年 1300円）

○『かき氷 天然氷をつくる』ちしきのぼけっと

（細島雅代／写真 伊地知英信／文 岩崎書店 2015年 1600円）

☞ 添付ファイルをご覧ください。

早いもので、もうすぐ1学期も終わります。校舎内には再び静けさが戻ってきますね。暑さ厳しい折ではありますが、学校図書館の本を整理したり、館内を整備するには、とても貴重な期間です。とはいえ、担当の先生や学校司書さんだけで行うには、たいへんな作業量になってしまうことが予想されます。ここはぜひ、先生方全員にご協力を願って、夏季休業中の職員作業の一つとして計画されてはいかがでしょうか。また、そうすることにより、全員の先生方に、自校の学校図書館の実情について、理解を深めていただくことにもつながるのではないのでしょうか。学校全員の先生方による学校図書館の活用がさらに進むと良いですね。

「子どもと本の日通信」では、学校の読書活動の実践例や先生方、学校司書さんたちの様々な工夫点などを、積極的に紹介したいと思っています。各学校からの情報を心からお待ちしております。どうか気軽にご連絡ください。喜んで取材に伺います。連絡先は下記のとおりです。よろしくお願いします。

編集・発行： 福岡市教育委員会 教育支援部 生涯学習課
電 話： 7 1 1－4 6 5 5 F A X： 7 3 3－5 5 3 8